

# チャレンジ鹿児島労働局（19年12月）

鹿児島労働局

〒892-0816 鹿児島市山下町 13 - 21

099 - 223 - 8275

URL <http://www.kagoshima.plb.go.jp>

## 11月の有効求人倍率は0.58倍と前月を0.03ポイント下回る

鹿児島県の本年11月の有効求人倍率（季節調整値）は0.58倍（前月0.61倍）と、前月を0.03ポイント下回りました。また、新規求人倍率（季節調整値）は0.88倍と前月を0.03P下回りました。

新規求人数は前年同月比5.5%の減で4か月連続で減少しました。産業別では飲食店・宿泊業（11.7%増）が2か月連続で増加し、製造業（18.5%増）、運輸業（8.1%増）が3か月ぶりに増加に転じましたが、建設業（19.5%減）、卸売・小売業（18.4%減）が4か月連続、医療・福祉（4.2%減）が2か月連続で減少し、サービス業（10.6%減）も再び減少に転じました。

新規求職者数は前年同月比2.2%の増と2か月連続で増加しました。

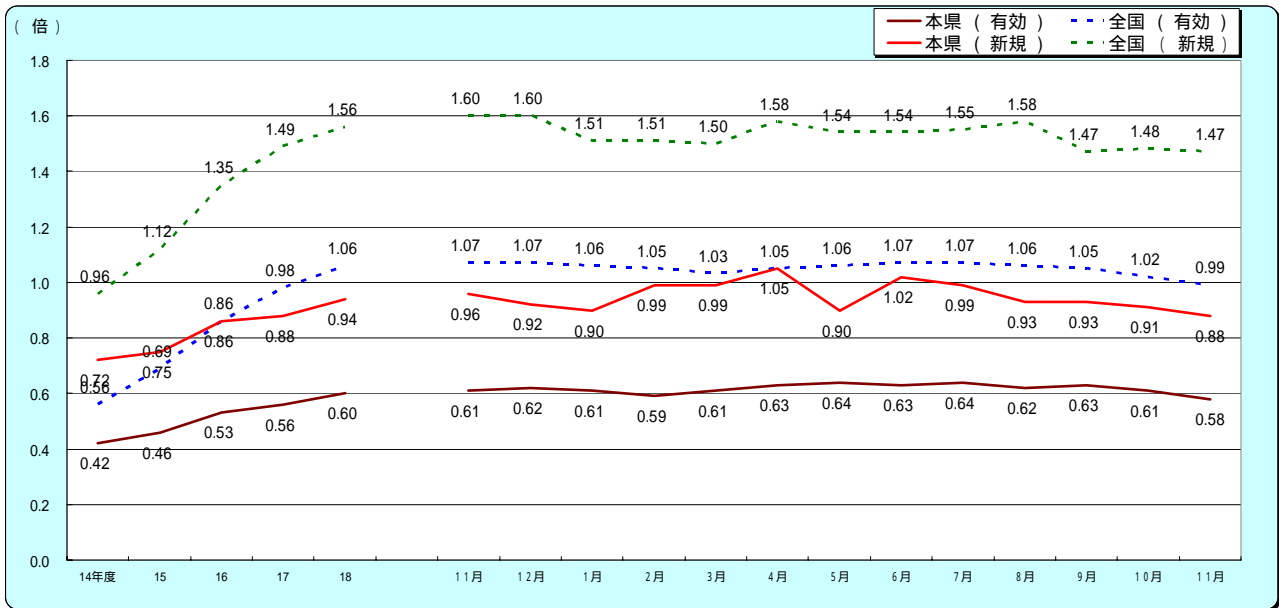
新規常用求職者の態様別では在職求職者（20.2%増）は5か月連続、離職求職者（0.6%減）は再び減少し、内訳では事業主都合離職者、自己都合離職者とも減少しました。また、無業求職者（4.4%減）は5か月連続で減少しました。

雇用失業情勢について、今月は製造業が電子部品・デバイスを中心に好調でしたが、このところ主要産業の求人の減少が目立ち、今後、新規求人は低水準で推移するものと思われます。一方、新規求職者は減少しておらず、今月の有効求人倍率は17年12月以来（23か月ぶり）の低水準となりました。

鹿児島労働局では特に求人開拓に注力しつつ、職業相談の充実と求人・求職のマッチングに努めてまいります。

（職業安定部職業安定課）

## 有効（新規）求人倍率の推移



## 平成20年度「均等・両立推進企業表彰」候補企業の公募について

厚生労働省では、「女性労働者の能力発揮を促進するための積極的な取組」（ポジティブ・アクション）及び「仕事と育児・介護との両立支援のための取組」について、他の模範ともいえるべき取組を推進している企業を対象に「均等・両立推進企業表彰」を実施しています。

このたび、平成20年度の表彰候補企業を公募しますので、ぜひご応募ください。ポジティブ・アクションに積極的に取り組んでいる企業、ファミリーフレンドリーな企業の応募をお待ちしております。

応募の受付期間は平成20年1月1日から3月31日までです。応募用紙に必要事項をご記入の上、鹿児島労働局雇用均等室あてにファクシミリ、郵送又は電子申請にて応募してください。なお、各賞の詳細や応募用紙については鹿児島労働局ホームページをご覧ください。

（雇用均等室）

## 平成20年3月新規学卒者の就職内定状況について

(平成19年11月末現在)

県内における平成20年3月高校・短大・大学卒業予定者の就職内定状況は、緩やかな景気回復基調の中、企業からの求人の増加等により、平成19年11月末現在前年同期に比べ、高校生は3.9ポイント増の80.5%、短大生は4.5ポイント増の40.6%、大学生は11.4ポイント増の66.9%となっており、厳しい中にも改善傾向が見られます。

(職業安定部職業安定課)

